

吉舎中研究だより vol.2 令和7年10月8日研究部

第2回校内授業研 全体研修会

単元名：「説得力を高める・黄金の扇風機／サハラ砂漠の茶会／意見と根拠の吟味」

対象学年・教科：2年国語 授業者：〇〇教諭

9月29日(月)に中学2年国語の授業研究を行いました。代表として授業提案をしてくださった〇〇先生、ありがとうございました。今回の授業について参考になる点、今後に向けての課題をご紹介します。



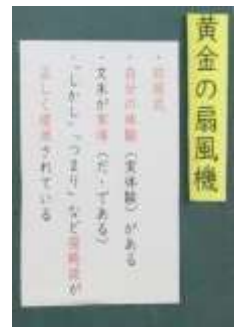
参考になる点

①単元を通した学習の流れの明確化

授業者が単元を通した計画をしっかりとっており、活動の意味をはっきりと持った授業をつくられていました。

②ワークシートや思考のパターン化

自分の考えを書く際に、前時に学んだ「黄金の扇風機」の工夫点についてまとめたものを掲示したことで、今回学ぶ「サハラ砂漠の茶会」の工夫点を書く際の手がかりとなっていました。また、ワークシートの記入の仕方をパターン化することで、前時のワークシートを参考にしながら思考する生徒も多く、各自のペースで学習を進めることができていました。



自分の考えをもち、主体的に学ぶ生徒の育成のために…

★既習事項の丁寧な確認

修学旅行後で久しぶりの授業だったこともあり、指示される言葉を理解できずに何をするのか分かっていない生徒もみられました。主体的に学ぶために、既習事項のより丁寧な確認や掲示をしておくことで、生徒が用語を理解し、何を指示されているのかが分かる授業になるのではないかという意見がでました。



★ワークシートの構成

生徒の思考をよりスムーズに進めるために、ワークシートの構成をより分かりやすくするとよいのではないかという意見がでました。



研究のキーワード

既習事項とのつながり

自分の考えをもち、主体的に学ぶ生徒の育成を目指して、今回の学びをつなげていきましょう。